



豆知識
古跡：立地蔵（たちじぞう） 三階節の元歌に詠まれるお地蔵さま

割烹三井田に通じる小路の角にひっそりとたたずむ、お地蔵さま...

「米山さんから雲があー出たー」で始まる 三階節 の元歌に
 「ねまり地蔵や 立地蔵 ほとけ ほとけに似合わぬ 魚の ばんぞう なされます」
 とあります。

ばんぞう とは、売買の仲介の事を言っていたようです。

三階節の始まりには諸説あり、
 その1つに、承応の頃（1652年頃）のお坊さん（柏崎の専福寺三代目）の歌で始まり、
 江戸時代中期、10代將軍徳川家治(1760～1786年)の時代に盆踊り唄として流行したとの説がございます。

固くて細工のしにくい安山岩質角礫岩（かくれきがん）に彫られた薬師如来像で、
 左右には、日光・月光菩薩も彫られている像高162センチメートル厚さ44センチメートルのお地蔵さまです。
 安山岩質角礫岩は、柏崎の米山町～鯨波海岸～東の輪海岸～番神海岸に観られる岩で
 柏崎では「米山石」と呼ばれています。

割烹三井田にお越しの際は、「米山の岩で作られた三階節のお地蔵さん」としてご覧頂ければ幸いです。

ねまり地蔵は、道路沿い 西150メートル先